

投

稿 属性 タイトル 口コミ内容

者

- A 20 義姉の気
逆に新鮮でした。何より、義姉の気持ちにすごく共感してしまって…。最初は「弟に変な日焼け跡つけさせないよう
さ 代・ 持ちに共
にしなきゃ」くらいの軽い気持ちだったのに、再会した彼の体に自分の知らない痕跡を見つけてしまった時の、あの
ん 女性 感しかな
胸がざわつく感じ。「え、誰と？どこで？」って、知りたくないような、でも知りたいような…。嫉妬と好奇心がぐちゃぐ
い！ ちゃになる感覚が、すごくリアルに描かれていて、読んでいて苦しくなるほどでした。
- B 30 日焼け跡
普段は伏線が張り巡らされたミステリーや、社会派の青年漫画を好んで読んでいます。この作品はジャンルが違う
さ 代・ の『謎』が
焼跡という「謎」。これが非常に秀逸なフックになっていると感じました。単なる恋愛模様ではなく、「この日焼け
ん 男性 秀逸 跡はどのようにしてできたのか？」というミステリー要素が加わることで、物語にぐっと引き込まれました。読み進める
うちに、様々な可能性を頭の中で巡らせてしまい、気づけば作者の術中にはまっていた、という感じです。
- C 20 義姉弟の
普段は男性同士の繊細な関係性を描いた作品を好んで読んでいますが、この『義弟の日焼け跡』は、男女の禁
断の関係というテーマに惹かれて手に取りました。結果、大正解でした。義理の姉と弟という、近くて遠い、絶妙な
さ 代・ 関係性が
距離感。その関係性が、夏の出来事をきっかけに崩れていく様に、終始ドキドキさせられっぱなしでした。特に、義
ん 女性 たまらない
姉が弟に対して抱く、母性のような庇護欲と、一人の男性として見てしまう欲望の間で揺れ動く姿がたまりませ
…！ ん。
- D 40 計算され
仕事柄、様々なジャンルのエンタメに触れるようにしています。この作品は、いわゆる「禁断の義姉弟モノ」というジ
ヤンルに分類されるでしょうが、その中でも非常に完成度が高い一作だと感じました。特筆すべきは、その構成力
さ 代・ 尽くした構
です。24 ページという限られた尺の中で、読者の興味を引きつける「謎」を提示し、キャラクターの感情を丁寧に
ん 男性 成と画力 描き、そしてカタルシスへと導く。その手腕は、作者である志乃武丹英先生の経験値の高さを感じさせます。